



平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第116期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、当社の事業概況やその取り組みおよび成果等につきまして、ご報告させていただきます。

代表取締役社長 岩田 裕美



まずはじめに、一連の独占禁止法違反事件につきまして、株主の皆様、お取引先をはじめ関係各位に多大なるご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社としましては、かかる事態を厳粛に受け止め、再発防止に向けてコンプライアンスの一層の強化、徹底を図り、皆様からの信頼回復に全力を挙げて努めてまいる所存であります。

企業理念

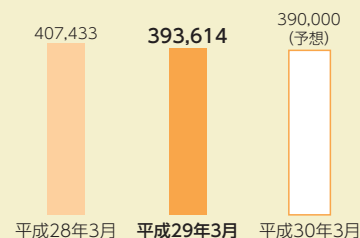
わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

- 信頼を築く
- 技を磨き、伝える
- 夢をいだき、挑戦する

連結決算ハイライト

売上高（単位:百万円）



当期の経営成績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果等により、景気は緩やかな回復基調が続きましたが、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況にありました。

建設業界におきましては、設備投資は持ち直しの動きが見られ、公共投資も底堅く推移したものの、労務需給や原材料価格等の動向に注意を要するなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売の強化に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は3,936億14百万円(前期比3.4%減)となりました。利益につきましては、受注競争が激化する中、コスト削減や業務の効率化による収益力

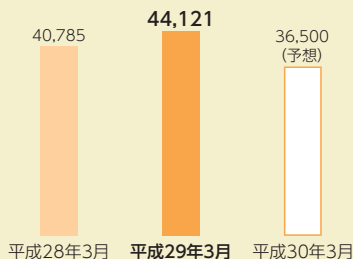
の向上に努めてまいりました結果、営業利益は441億21百万円(前期比8.2%増)、経常利益は457億99百万円(前期比8.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は285億18百万円(前期比8.7%増)となりました。

次期の見通しについて

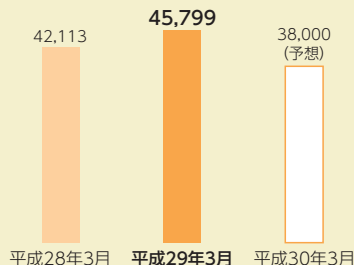
建設業界におきましては、企業間の熾烈な受注競争、労務需給や原材料価格等の動向に注意を要するなど、業界を取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況が予想されますが、技術力の向上、営業力の強化、原材料価格への適切な対応に努めるとともに、生産性の向上とコスト削減の推進等により、平成30年3月期の通期業績は売上高3,900億円(前期比0.9%減)、経常利益380億円(前期比17.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益235億円（前期比17.6%減）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

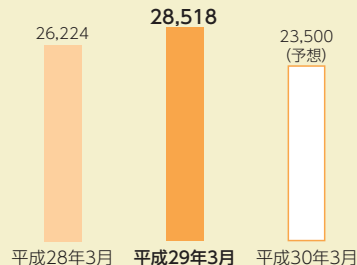
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



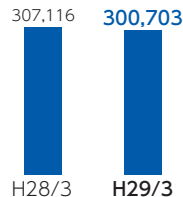
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



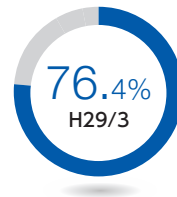
建設事業

当社グループは建設業法に基づく国土交通大臣許可を受けた建設業、およびこれに関連する事業を行っています。建設事業は当社グループの主要部門であり、「舗装土木事業」「建築事業」で構成されています。

売上高（単位：百万円）



売上高構成比



舗装土木事業



売上高

2,358億83百万円
前期比 3.4%増 ▲

営業利益

242億82百万円
前期比 4.6%減 ▼

事業内容

1934年の会社設立以来、人や環境への配慮といった視点から、独自の技術を活かした道路舗装土木事業を行ってきました。近年では、交通量の増加や車両の大型化が進み、道路の維持修繕の重要性が一層高まっています。

建築事業



売上高

648億19百万円
前期比 17.9%減 ▼

営業利益

58億37百万円
前期比 41.8%増 ▲

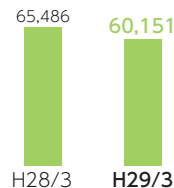
事業内容

1983年から本格的に建築事業に取り組み、組織力を活かした総合事業に大きな信頼を寄せていただいております。お客様の要望や現場の状況に応じた綿密なコンセプトづくりから施工、メンテナンスまで、あらゆるニーズに満足していただける快適な空間を提供し続けます。

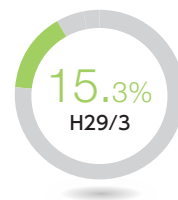
製造・販売事業



売上高 (単位: 百万円)



売上高構成比

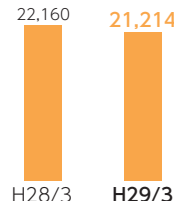


事業内容 道路を舗装するために最も多く使用されている材料がアスファルト合材です。当社グループは全国約160ヶ所にアスファルト合材の供給基地を持ち、当社グループの工事で使用するだけでなく、ほかの舗装業者にも販売しています。また、循環型社会形成のために、舗装廃材のリサイクルシステムを構築し、アスファルト舗装廃材を受け入れて、自社工場で再生・再利用しています。

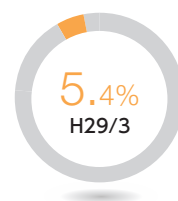
開発事業



売上高 (単位: 百万円)



売上高構成比

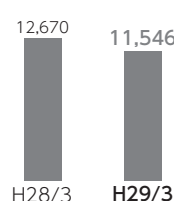


事業内容 当社グループのネットワークとノウハウを生かし、デベロッパーとして安心・快適な街づくりに取り組んでいます。宅地開発・建物分譲事業、マンション分譲事業（ル・サンク「Le Cinq」シリーズ）、オリジナル住宅事業（グラチア「GRATIAE」シリーズ）、不動産賃貸事業（アーバス「ABAS」シリーズ）などを展開し、都心部や中核都市で、安心・快適に過ごせる商品を提供しています。

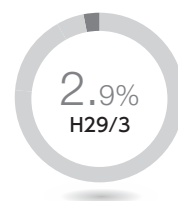
その他



売上高 (単位: 百万円)



売上高構成比



コンサルタント・調査業務

主要工事

舗装土木事業



(修) 舗装改修工事1-201



泉中央駅前ペDESTリアンデッキ改修工事6

主要完成工事

発注者

国土交通省 北海道開発局

JXエネルギー株式会社 (現 JXTGエネルギー株式会社)

神奈川県内広域水道企業団

国土交通省 四国地方整備局

国土交通省 九州地方整備局

工事名

新千歳空港 A滑走路南側舗装老朽化対策工事

横浜綱島水素ステーション設置工事 (設計・施工)

小雀調整池耐震補強工事

高松空港滑走路改良工事

長崎空港誘導路 (P2) 改良工事

建築事業



(仮称) 堺西物流センター新築工事 舗装工事



横浜綱島水素ステーション設置工事（設計・施工）

主要未成工事

発注者

工事名

JXエネルギー株式会社（現 JXTGエネルギー株式会社）

DDセルフ築館インター店 新設工事（土工工事他）

東京電設サービス株式会社

いわき太陽光発電所建設工事（その1）

首都高速道路株式会社

（修）上部工補強工事（鋼床版）3-202

西日本高速道路株式会社 関西支社

新名神高速道路 神戸舗装工事

西日本高速道路株式会社 四国支社

高松自動車道 引田IC ～ 三島川之江IC間舗装補修工事

